# 令和8年度　環境関連書籍等の活用
# ご意見・ご感想　一覧表

| 施設区分 | ご意見・ご感想 |
|---|---|
| こども広場 | 特に要望はありません。コーナーの絵本に興味をもって、お子さんに読み聞かせをしている親子も見受けられ、良い機会となりました。 |
| 保育園・幼稚園・認定こども園 | ・身の回りにあるもの（こと）が、どのような過程で作られたかを知り興味関心を持っていた<br>・廃材や切れ端を使って遊んでいるが、「まだ使える」「もったいない」「こうすると使える」など、子どもが工夫し紙などを大事に使う姿がある。<br>・年長クラスで水族館作りをしていることもあり、『ちきゅうのためにやってみよう』の本を読んだ際、海と川が繋がっていて川を汚すと魚たちが苦しいということに気づき、どうすればいいのか子どもたち自身で考える機会となった。<br>・『みずたまレンジャー』を読んだことで、水を使う際に無駄使いせず大切に使おうとするようになった。<br>・2才児クラスでも『もったいないばあさん』を読んだことで、「もったいない」という意識をもてるようになった。給食で残っている食材があると「もったいないね」と話していた。子どもの発達に合わせわかりやすい絵本を選ぶことで、楽しく環境について学ぶ一歩となった。<br>・「くさはらこみちでおさきにどうぞ」の絵本に登場する生き物が身近にいたため、興味を持ったり戸外で発見して喜ぶ姿があった。<br>・1才児クラスでは、果物や動物が登場する絵本を読み聞かせた。子どもたちは絵本の果物を指さして名前を言って食べる真似をしたり、好きな動物が出てくるページを何度も見たりなど、興味を持っていた。絵本を通して身近な自然や生き物に親しみを持つことができた。また発語の時期なので、繰り返し見ることで名前を覚えるきっかけにもなった。 |
| | ・保育士も子どもも、環境月間をきっかけに、意識的に自然や環境へ目を向けることができた。<br>・電子サービスだと報告がしやすく助かります。 |
| | ・トマトを植えた時に見たので、咲いている花が今後どのように実へと成長していくのかを知ることができた。トマトといえば赤い実をイメージしていたため、最初は緑色の実がなることに驚く子もいた。「トマト早く赤くなってほしいな」とトマトの成長を楽しみにする声もきかれた。<br>・田んぼへおたまじゃくし探しをした。「いたいたー！」「どこにいる？」と話したり、変身途中を見て観察していた。<br>・部屋で飼っているカナヘビと絵本を見比べたりして興味を持つ。<br>・うみぼうずの泳ぎ方を見て「やってみたい」「くらげ泳ぎをしよう」と実際にプールで挑戦したがる子が多くいた。 |
| | ・環境月間ということで、読み聞かせを意識することができた。<br>・「わたしのやさしいいちにち・・・」を読み終えると、「私のママはいつも袋いりませんて言ってるよ」「寒い時はカーディガンを着ているよ」など、家でしているエコ活動を口々に言っていた。保護者の方もいつも意識していることと知ることが出来た。<br>・「ナマケモノの森」では、「ナマケモノかわいそう」「森がお家の動物さんはどこに行っちゃうんだろう」と感想を言っていた。環境について考えるよい機会となった。 |
| | 保育士が意識して環境についての絵本を読み聞かせることで、子どもたちが興味や関心を持つきっかけになる。今後もこのような取り組みを続けていくことが大切だと思う。 |
| | 生き物や植物の観察等が大好きな子どもたちなので、環境学習も自然に楽しくできているとは思います。関心を広めることができるよう、図書等紹介していただいているものが参考になりありがたいです。 |
| | 環境図書関連リストが大変参考になりました。次年度も添付をお願いしたいです。 |
| | 日頃より、子ども達が興味を示した時にそれにあった図鑑や本をコーナーに設置し学びが深まる環境にしています。 |
| | ・保護者も巻き込むような取り組みをすればもっと親子で楽しみながら学べると感じる。<br>・環境をテーマにしたイベントを開催（親子参加型）<br>・毎年取り組んでどのような変化が見られたか？どのような効果が見られたか？知りたい。 |
| | ・今回は絵本だけでなく物や資源を大切にする気持ちを育てていけるように、身近な水をテーマに取り組みを考えた。（幼児組）<br>1，手を濡らし水を出したまま石鹸で手洗いする。<br>2，手を濡らし水を止めてから石鹸で手洗いする。<br>1，2の場合の水の量を比べると「1のほうが水が少ない」「お水出しっぱなしだともったいない」「プールや飲む水がなくなっちゃう」という意見が出た。<br>この取り組みのあと水を止めて手を洗う姿が見られるようになった。また、水の量も意識しながら手を洗う子が増えた。<br><br>・2才児では保育士と一緒に手洗いをしていく中で、水道の水を出しすぎたときに自分で気づいて止めている姿があった。「お水出しすぎ？」と確認する子もいて、日頃から水の量を意識しているようだった。<br>・1才児、0才児クラスでは身近な生きものが出てくる絵本（本のタイトル参照）を読み聞かせすることで生きものや物に興味を持ち、実際の生きものや物に興味を広げていた。<br><br>環境月間なので、絵本や紙芝居に限らない取り組みでもいいのではないかと思う。 |
| | ・遊びの中でどろだんごに熱中し始めていたため、絵本を見ると『白砂をかけると固くなるよ』『落としても割れないお団子をつくりたい』と声が上がった。今まで泥団子づくりに興味が湧いていなかった子も『やってみようかな』という姿に繋がった。<br>・だんごむしに興味があり、餌をあげたり、可愛がったりと飼って親しんでいる。だんごむしの絵本を読み聞かせすると、喜んでだんごむしポーズをしたり、脱皮する姿や卵が産まれる様子をとても真剣に見ていた。その後も飽きずに室内でも戸外でもより関心を持ってだんごむしを飼育している。<br>・かたつむりの絵本を読んでから本物のカタツムリ探しに出掛けた。かたつむりを見つけると『にゅー、でてきたね』と絵本の一場面を思い出したつぶやきをしていた。<br>・環境や自然に関わる絵本を読むことで、子ども達が虫や天気、自然等により興味をもつきっかけとなった。 |
| | ・保育士が年齢に合わせた絵本を選び、コーナーなどを設置したことで子ども自ら自然や環境などSDGsに関心を持つことができた。<br>・環境の絵本は、子どもたちは好きなので図鑑などもよく見ている。 |

## 令和8年度　環境関連書籍等の活用
## ご意見・ご感想　一覧表

| 施設区分 | ご意見・ご感想 |
|---|---|
| 公民館・交流センター | 環境図書のコーナーを設置することにより、おすすめした本を手に取ってくださる方がいて、雨や天気などの環境に対する意識が高まりました。 |
| | ・毎年図書室に環境図書を設置しているが、玄関ロビーと廊下に環境月間の掲示をし、より多くの方に図書室に足を運んでいただけるよう「成人学校やサークル活動の時には本を借りていきませんか」のポスターを目立つように掲示した。普段図書室を利用しない人にも環境図書を手に取ってもらえてよかった。<br>・今年は環境月間にちなみ、6/21（日）に市民講座で「Nagappaのかみしばい」を企画した。日曜日、親子で環境についてのおはなしと工作を楽しんだ。（おはなしはすべて講師の創作）環境に配慮し、牛乳パックやペットボトルの蓋などの廃材を利用してカスタネットを作り、それを使用して環境をテーマにしたかみしばいに一緒に参加した。子供だけでなく大人にも面白いと好評でまた開催を検討している。 |
| | ・来年度は、6月の環境月間に入る前に、もしおすすめの本または、お子様向けの読みやすい本あれば分室に送っていただけると嬉しいです。ご検討ください。<br>・環境コーナーを作って関連本を置いたところ、いつもより環境に関する本の貸出数が増えました。<br>・今年は、種から水耕栽培したものがちょうど芽を出したので、本と一緒に展示してみました。 |
| | センターの先生方と地区の読み聞かせボランティアサークル、おはなしの森さんに環境に関する読み聞かせ等をしてもらった<br>絵本:「おもちゃのチャチャチャ」「いない　いない　ばあ」<br>・「おもちゃのチャチャチャ」の読み聞かせの際に、親子で貝殻等を入れた使用済みボトルを”チャチャチャ”のタイミングに合わせて振り、音も楽しみながら参加することで集中して聞くことができた。廃材も捨てずに工夫すれば、子どものおもちゃにすることができるという説明に保護者は興味を持って質問し、ごみ問題を学び環境への関心を持つ機会となった。<br>・「いない　いない　ばあ」の読み聞かせでは、生き物の名前を当てたり覚えたりしながら「いない　いない　ばあ！！」とみんなで一緒に声に出して楽しむことが出来、大人も子供も初対面でもみんな笑顔になり、心の交流を通してコミュニケーションをとることができ、生き物も家族も仲間も大切にしようということを学んだ。 |
| | ・読み聞かせについて<br>中部公民館周辺には、子どもが少ないため、就学前の子どもの集いの場となりづらい。<br>そのため、子ども向け講座の企画は比較的困難となることから「読み聞かせ」企画は実施しなかった。<br>・展示場所の工夫<br>教室としての図書室がないため、多くの来館者が目にする廊下に環境展示コーナーを設置した。<br>・環境関連図書<br>館内には環境関連図書が少ないため、南部図書館から改めて借用し、展示した。 |
| | 子供達に環境図書の読み聞かせをする良い機会になりました。 |
| | 公民館図書室のコーナーに、6月は「環境月間」に合わせて、環境関連の本を展示した。自然や水をテーマにした写真集を手にとり、閲覧用スペースで長時間見入る方や、コーナーから環境関連の本を選んで借りていく方など、本の展示を通して環境問題に関心を高める機会となった。 |